

校長室便り

(文責)

ドー八
日本人学校校長
酢谷昌義

元気よく返事ができました

来賓の皆様 ありがとうございました

- ・日本国大使館
岩間 良次 様
- ・合同石油
生方 俊輔 様
- ・伊藤忠商事
秋山 友厚 様
- ・カタール石油開発
田中 幸宏 様
- ・住友商事
小島 政敏 様
- ・竹中工務店
種石 浩史 様
- ・中部電力
島田 勇一 様
- ・三井物産
吉村 貴志 様
- ・三菱商事
武田 弘 様
門脇 恵一 様

皆様のお陰で立派な式に
することができました。

保護者の皆様へ

何かとお忙しい中、入学式・保護者全体会にお越しくださりありがとうございました。いよいよ平成22年度がスタートしました。

子ども達1人1人が確かな学力と豊かな心を身につけられるように、全力で取り組みたいと思います。今後ともご理解ご協力をよろしく願います。

平成22年度「入学式」から

小学部1年生1人・中学部1年生1人を迎え、平成22年度「入学式」を無事に行うことができました。たくさんの来賓・保護者の皆様にご参列いただき、ドー八日本人学校らしいとても温かな雰囲気の中で新入生を迎えることができました。

小学部1年生の沙羅さんは、緊張しながらも元気よく返事ができ自己紹介も頑張りました。中学部1年生の竜くんは、堂々と誓いのことばを述べることができました。2人のやる気がとてもよく伝わってくるようでした。在校生もきちんとした態度で式に臨んでいました。在校生の半数近くが新しいメンバーですが、ずいぶん前から一緒に過ごしてき

たように感じるほど、もう立派なドー八日本人学校の仲間になっていました。これからの子ども達の頑張りがとても楽しみにになりました。

これで在籍児童生徒数が21名になりました。(間もなく入る1名の転入生を含めて22名です)徐々に増えてはきていますが、小規模校には変わりありません。子ども達1人1人が活躍できる場をつくり、自信と粘り強さを身につけられるように取り組んでいきたいと思ひます。

始業式でも入学式でも3つの「あ」について話しました。普段の生活の中でも、自分を見つめ前向きに頑張ることの大切さを働きかけていきたいと思ひます。



校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

弁当時間にも変化

弁当の時間は毎日全校で食べていましたが、今年度はクラスの日・全校の日のように昼食をとる形態にも変化を持たせました。昨日は初めての弁当で初めてクラスごとに食べましたが、どのクラスもとても和やかで良い雰囲気の昼食時間になっていました。



子ども達の目の輝き！

まだ子ども達全員がそろってはいないのですが、ずいぶん学校の雰囲気が変わったように感じます。同じようなことを昨年の第2学期が始まった時にも感じました。大きく児童生徒数が増えると、子ども達が持つ本来の子どもらしさがより発揮されるようです。

これはとても素晴らしいことだと思います。子ども達同士の関わりが増え、お互いに刺激しあって成長していくことにつながるからです。まだ始まったばかりですが、それがいろいろな場面で見られてとても嬉しく思っています。

昨年までとの大きな違いは中学部の雰囲気です。生徒数は今のところ3名ですが、中学部らしく下級生の手本となるとういう意欲がみなぎっています。小規模校ではたった1人の違いでもいろいろな変化が現れるものですが、中学部の生徒の影響はとても大きなものがあることを改めて感じています。今の気持ちを大



真剣に聞く委員会活動の説明

切に、中学部の活躍を心から期待しています。

小学部の子ども達は、教室をのぞいても休み時間の様子を見ても、本当に楽しそうにしています。同級生やクラスの仲間が増えたのが嬉しくて仕方がないという様子です。

子ども達は子ども達同士の関わりの中で学び成長していくものです。児童生徒数の増加は、その関わりが増えることでもあります。日本ではあまり経験できないクラスの枠を越えた縦の関係も加わりま



盛り上がる休み時間!!

わりを大切にすることで、今まで以上に感情の交流を図りたいと思います。

新しい年度の始まりにふさわしく、子ども達1人1人の目がとても良く輝いています。この目の輝きをかすませることがないように、楽しく充実した毎日ができるよう全職員で取り組んでいきたいと思

校長室便り

(文責)
ドー八
日本人学校
校長 酢谷昌義



担任の読み聞かせ(1・2年生)

読書指導の充実を図る

昨年1年間に、カタール駐在
日本企業の皆様から600冊を
越える図書を送贈していただき
ました。今回もまた図書寄贈
のお話があり、図鑑類充実の
ために現在希望図書を選定し
ているところです。

これだけの図書を寄贈して
いただけるのも日本人学校な
らではと、心から感謝いたし
ております。その有効利用を
図るためにも、今まで以上に
読書指導を充実させていき
たいと考えています。

今年度はまず朝読書の時間
を1日増やすことにしました。
これまで日曜日と火曜日の登
校後、学級朝の会までの時間
を使っていましたが、木曜日
も朝読書をすることにしまし
た。これまでは毎回図書室を
利用していましたが、クラス
ごとに図書室を利用する日と
教室で読書をする日を分ける
ことも考えました。

昨日は今年度初めての朝読
書でした。1・2年生は教室で、
他の学年は図書室で静かに本



集中して本に向かっています

に向かっていました。

ドー八日本人学校の子
ども達はとても良く本を
読みます。「ことばの力」
を伸ばすためには何より
も読書が1番です。本に
触れる時間を確保するこ
とはもちろん、読書の感
動を書くことへとつなげ
る指導にも今年度は取り
組んでいきたいと思っ
ています。

朝読書で始まる1日は、
落ちついた雰囲気です。本
当に気持ちの良い朝にな
っています。

引き続き「今月の詩」

今年度も引き続き「今月の詩」
を紹介していきたいと思いま
す。日本には素晴らしい詩が
たくさんあります。豊かなこ
とば・優れた表現に少しでも
多く触れてほしいと思いま
す。

子ども達が毎月暗唱して聞
かせてくれるのも大変楽し
みです。

四月の詩
小学部低学年

「いちねんせいだわっはっは」
まど みちお
一ねんせいだわっはっは
どっちをみたつてともだちだ
やせがお
でぶがお
でこぼがお
でもめはおなじいたずらめ
わっはっはっはわっはっは
一ねんせいだわっはっは
ワニでもトラでもクマでもい
まるがお
なががお
べしやんがお
一どにあかんべべろだすぞ
わっはっはっはわっはっは

小学部中学年

「じいじょうつかい」
まど みちお
わたくしがワタガシ
せつしゃがシャガ
しらんかしらんがあれ シラン
わしはワシ
ぼくらモグラ
ザルでござる
ワナだわな
タガネだがね
アリマキであります
うぶんウのフンなのさ
そうさあ サラさあ
タラだつたら
ヤヤ
ヘビじゃ
ホースともうす
トケイだ おぼえとけい
てんかのカよ

校長室便り

(文責)
トー八
日本人学校
校長 酢谷昌義

ドライバー変更のお知らせ

まだスタートしたばかりですが、急にドライバーが変更されることになりました。

バス・ルート2(加納さん・舟木さん・竹村さん・畠山さん)のドライバー: ビジュさんが、家庭の都合で急ぎよ帰国しなければならなくなったそうです。

その関係で本日ルートの確認を含め、ドライバーの引き継ぎが行われました。

バス・ルート2の新しいドライバーは「アンシ(Ansi)」さん
「モバイル: 5713785」
よろしくお願いたします。

盛り上がる休み時間

児童生徒数が増え、一段と休み時間がにぎやかになりました。これまで同様最も盛り上がるのは「こおりおに」です。

1年前は先生方が遊びに加わらなければ、遊びそのものが成立しないような状態でした。ところが今では、子ども達だけで十分に楽しめるようになっていました。全校で一緒に遊ぶことはもちろん、自分たちがやりたい遊びでグループができるなど、子ども達それぞれの思いが生かせる時間にもなっています。

遊びの時間はとても重要です。子ども同士の関わりという面はもちろん、体を動かす機会としても大切にしなければなりません。これから先は戸外での運動が当分の間できなくなってしまうこの国では、休み時間は貴重な運動時間にもなるからです。

遊びを通して学ぶこともたくさんあります。学年の枠を越えた縦の関係の中で過ごすことの多い子ども達は、日本

とは得られるものも違ってくるはず。そうした休み時間だからこそ、大切にしていきたいと思えます。



卓球を楽しむグループ



鬼ごっこの鬼を決めています

四月の詩
小学部高学年
「さくらの はなびら」
えだを はなれて
ひとひら
さくらの はなびらが
じめんに たどりついた
いま おわったのだ
そして はじまったのだ
ひとつの ことが
さくらに とって
いや ちぎゅうに とって
うちゅうに とって
あたりまえすぎる
ひとつの ことが
かけがえのない
ひとつの ことが

中学部
「はずむいま」
いま ぼくは生きているのだけれど
ほんとうは 明日のためだけに
生きているような気がする
大人たちも 明日のことばかり言う
「だからいまはがまんしなさい」って
じゃあ ほんとうの明日って
いつくるの?
ぼくは いま はずんでいる
いま友達と遊んだり話したりしたい
いまだしかできないことが
いっぱいあるような気がする
だから それをたっぷり見つけて
いまを大切にしたい
そうすることが
明日につながる気がするのだけれど
ぼくのはずむこころ
いま 大切にしたい